

平成 29 年度 第 1 回 学校協議会 議事録

日 時：平成 29 年 6 月 30 日（金） 15:00～16:00

場 所：大阪府立桜塚高等学校 応接室

出席者（14 名）：委員（中岸、伊原、山澤、村田）（敬称略）

門田准校長、梶田教頭、田中主査、土井、中島、島内、坂本、根岩

欠席者（2 名）：委員（村田、中山）（敬称略）

協議内容

1. 准校長挨拶
2. 委員紹介
3. 事務局員紹介
4. 会長の選出 中岸委員が会長に選出される
5. 協議

■「平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価」の説明（准校長）

＜めざす学校像と具体的な取り組みについて＞

- ・何よりも基礎学力の定着をめざしている。昨年度の調査では、生徒の約 80%が授業に対して肯定的な評価を示した。今年度も生徒の授業内容に対する肯定率を継続向上させるため、一層の授業改善に取り組む。
- ・大阪府の課題早期発見フォローアップ事業の指定校として一般社団法人キャリアブリッジと連携し、不登校などの課題を抱える生徒の支援に取り組む。
- ・桜塚高校創立 80 周年事業の一環として全日制の課程と連携した活動に取り組む。

■「平成 29 年度行事予定」「平成 30 年度教育課程表」「平成 30 年度教科用図書選定」「生徒の年齢構成（年次別）」の説明（教務部 中島）

- ・平成 30 年度の教育課程では 1 年生に「桜学」に代わり「社会と情報」を新たに追加した。また、生徒が一人ひとりの興味関心に従って科目を選択できるように、3 年生と 4 年生の選択科目の一部を変更した。

■「キャリア教育」「卒業生の進路概略」の説明（進路指導部 島内）

- ・一般社団法人キャリアブリッジと連携し、在校生への支援とキャリア教育に取り組んでいる。
- ・有効求人倍率は増加傾向にあるが、本校生が希望する条件と企業側の求人条件の間に差があるため、就職活動に関しては厳しい状況が続いている。

■本校の生徒指導部の方針と説明（生徒指導部 土井）

- ・職員の心がけと生徒への働きかけにより、非常に落ち着いた環境である。6 月末までに 1 年生で問題行動が 3 件みられたが、早い段階で生徒の思いを受けとめながら指導することができたので、現在は落ち着きを見せている。

■今年度の 1 年生（新入生及び留年生）の状況について説明（1 年生担任 坂本）

- ・生徒の状況に合わせた学年目標を設定し、指導に取り組んでいる。

■その他

＜定時制の生徒と全日制の生徒の交流について＞（准校長）

- ・定時制の生徒と全日制の生徒が校内で七夕の飾りつけを行った。
- ・これまでの桜塚高校では、そのような取り組みはみられなかったが、誰が主体となっているのか？
→ 昨年の 12 月のクリスマスの飾りつけは全・定の生徒が主体となって実施した。しかし、今回は全日制の体育大会と期末考査の間という時期のため、教員が主導したが、次回に予定しているハロウィンやクリスマスの飾りつけは定時制と全日制の生徒同士で話し合う機会を設け、生徒が主体となって活動できるようにする。

＜学校案内の改訂について＞（教頭）